**アンケート・ピックアップ**

**1月12日　株式会社アカツキ　共同創業者　代表取締役　ＣＥＯ　塩田　元　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　授業が始まる前に、「この授業で何を得たいのかを考えてみてください」といわれて、考えてみたのですが、そうすることによって自分が感じる授業の充実度がいつもよりぐっと上がることを実感しました。私は普段、授業を受ける目標などあまり考えずに授業を受けていたので、「結局この授業で何を得たいのだろう……」と思うことがしばしばありました。まさに受動的な体制で臨んでいたのでこれからは能動的に授業を受けていきたいです。　（経営・国際経営・一年）

　同じサークルの先輩ということで、親近感を持って聞くことが出来た。経営者として起業する際に信念や理想をしっかり持って取り組んでいき、貫き通すことで成長していくということが心に響いた。「人間の成長というのは連続的に上がるのではなく、階段状に上がっていく」渋滞していても、そこで信念を持って続けられるか否かが大事だと感じた。（理工・機械工学材料系・二年）

最年少でマネージャーをされたりと本当に死ぬ気で勉強・仕事をされたのだと実感しました。ワンピースは観たことないのですが、大企業を海軍、ベンチャーを海賊として違いを細かく聞けたのがとてもよかったです。たくさんの賞を受賞されていたり、フロアの景観の発想だったりが自由闊達に突き進んでいて、海賊な感じが伝わってきました。チームでもつくることを意識し始めたころが楽しそうでした。“選んだ道を正解する”という考え方が素敵で一方で何かをやり遂げるときに非常に大切なことだと思いました。(経済・国際経済1年)

今回アカツキの話を聞いて、価値ある勝ち組というキーワードはとても心に残りました。義理合一という言葉と絡んでとても深い言葉だと思います。確かにバリューを生み出せるようにならないと利益を上げても意味がなくつまり価値がないのだと思いました。バリューを作り出す、ということを根本において、価値ある勝ち組になれるような行動をしていきたいです。(理工学部 化学生命学科 2年)

本日の講演で印象に残った言葉は、幸せは感情が決めるという言葉です。その言葉にとても共感しました。またアカツキは働くことが楽しく世の中に価値を生み出す社会だということを知り自分もこのような会社で大きな目標に向かって団結して働きたいと思いました。イベントも多く社員の健康にも気を遣っていて成長率1位という実績に納得できました。(理工学部 化学生命学科 2年)

　お話がとても面白くて、魅力的で、聞き入りすぎてメモを取るのも忘れてしまいました。良いことも悪いことも赤裸々にお話してくださったおかげで、とても力を頂きました。オフィスがとてもステキで、裸足で駆け回れるというのがとても面白いなと思いました。ベンチャーはなかなか厳しいものだということをこの授業を通して痛感していますが、アカツキさんでは楽しいことや面白いことをどんどん思いついて、それを実行していく行動力やそれを宣伝して仲間を集めていくことにおいて他の企業さんとは違う独自性があるのかなと感じました。ＭＢＡまで取得しておられるのに、「ＭＢＡで学んだことは直接活きません！」と潔くおっしゃっているのが面白いのと同時に、現場で得る物の大きさを感じ取り、自分も早く社会に出てみたいと思いました。（経営・経営システム1年）

　世界をわくわくするような世界にする。世界を感情で動かす。といった、常に前向きな取り組みや働き方を、将来の自分ができるかどうかはわからないが、満員電車で似たようなスーツを着て、つり革につかまっているサラリーマンにはなりたくないとは前々から思っていました。私は今、大学で部活に取り組み、本当に好きなことに熱中できるような環境で大学生活を送っています。塩田さんも言っていましたが、仕事に対して部活のようなわくわく感があれば、もっと人生は楽しくなるし、メンバーとのつながりも深くなり、相乗効果が生まれるように思いました。（経営・経営１年）

今回の講義で印象に残ったのは、感情報酬という言葉です。ドラクエの話を例にしていただいて、金銭のためだけに毎日働いてすごすよりも、楽しいだとか、幸せだとか、形がなくても自分がプラスの気持ちになれるような報酬を得られる仕事のやり方がとてもすばらしいと思いました。また、人のつながりや信頼関係というものがとても大切だと思いました。なので、今いる友人やこれからできるであろうつながりを大切にしたいと思います。もし自分が起業するということになったら、つらくてもぎりぎりまであきらめることなく、チャレンジし続ける気持ちでいたいと思いました。（経営・経営システム１年）

「幸せは奪い合わずに生み出すことができる」考え方次第ではあるがそういったポジティブシンキングは今の日本のビジネス界に必要だと思った。奪い合いは大きな会社の組織としては当たり前のことであるが、考えてみれば本来同じ目標をもってすべき仲間であるはずなのだ。少々リクルートを思い起こさせる。一人一人が独立して立ち、個性と才能発揮し、それが集合体となって会社が大きくなっていくパワーを感じる会社ではあるが子供がいる女性などそういった部分で人材活用どのようにお考えか聞きたかった。（経営・経営４年）

今日の話を聞いて、まずアカツキという会社は面白そうだと感じました。会社自体は自由でありながら明確な目標持っていて、そのような会社に自分も入りたいまたはそのような会社作りたいと思いました。また、アップルもGoogleも越えていくと本気で思っていて、それを言うことができるというのはかっこいい生き方だと思いました。自分もお金が1円ももらえないゲームは非常に面白いと思いやりこんでいるのですが、それはなぜかということは考えたことがなかったです。それは人の心を動かす仕組みがあるからということは納得しました。「なぜ」を考えることが将来の仕事に生きてくると思いました。（理工・化学生命系・２年）

本日の講義の中で言われていた、「ムカツイてることはすべて課題。それをワクワクしながら解決していく」という言葉が印象に残りました。私も具体的にどういう形かはまだ曖昧ではありますが、将来は何か自分だからできるようなことで人をワクワクさせたいなと思っています。そのため、この言葉を聞き、今後自分の生活の中で小さなことでもいいので何かムカツクと感じた課題を見つけたとき、それを楽しみながら解決していきたいなと思いました。まずは自分がワクワクできるようになりたいなとあらためて感じました。「人生には終わりがあること」を意識して、一日一日を大切に生きたいです。どうせ終わりがくるのなら、一日でも笑って生きていきたいので私は毎日たくさん笑うことを心がけていきたいです。（経営学部・会計情報学科・１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

起業の旅と自己変革という大きな2つのテーマでお話ししていただきました。今大学1年ですが大学生の間にやりとげたいことの1つに、自分としっかりと完全に向き合うことがあります。「私は何故ここにいるのだろう」といった問いかけを続け、向きあってきたというベンチャーの話が今私がやらないといけないと思っていることにあてはまり、印象に残りました。20歳の時に、60歳まで年表を作ってみるということを実行しよう思います。明確な目的があるけれど、どう進んだらいいかわからなくなることが多いので、なんでやっているか、なぜその夢を叶えたいのかを常に見つめるようにしようと思います。塩田さんのつながり、信頼の大切さのメッセージはとても力になりました。（教育人間・人間文化1年）

　今日の講義で塩田さんが社長に電話した等おっしゃっていたのを聞いて、今の自分にもできることがあるのだと感じました。自分から積極的に学ぼうとする姿勢を持つことが重要であると思いました。自分には考え方・行動が消極的な部分が多いと思うので、その姿勢を変えていかなければいけないと感じた。（経営・経営システム科・1年）

将来のことを漠然と考えるのではなく、「何歳で～をする」と具体的な構想を立てることで大学の授業を含めた色々な場面で自分にとって有益な情報を量と質共に得られるようになると思う。大学生という時間のあるうちに将来設計をする。（教育人間・学校教育一年）

　スライドの中に「人生は意識の成長である」という言葉がありました。ある一つの事柄においてその人々の意識のレベルの差によって価値づけが変わるともおっしゃっていました。本当にその通りだなと感じました。まだまだ未熟である私なので、まず自分の意識のレベルを上げるためにも学業、バイト、サークル活動、インターンなどすべてに全力を注いで行い、経験値を増やしていきたいです。そうして意識のレベルを上げ、毎日が幸せと思えるくらいまで成長したいと思います。その幸せがのちに他人にも影響を与えられるようになればいいなと思いました。（経営・国際経営一年）